

促成トマト栽培支援システムの開発

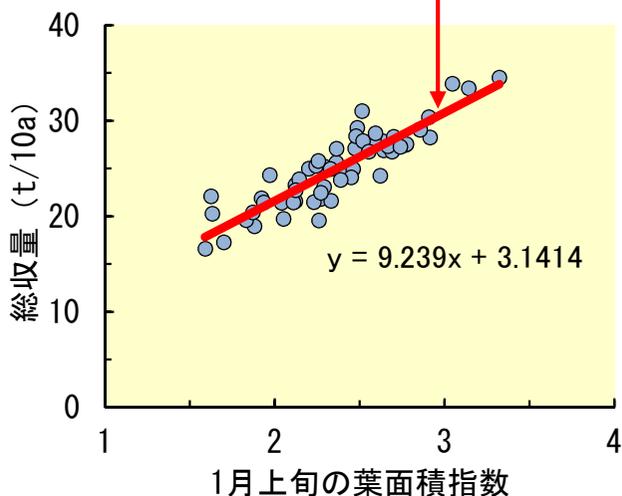
背景

安定して高い収量を確保するために、最適な栽培管理を支援するシステムが必要でした。

成果の内容

総収量予測モデルを作成し、最適な栽培管理を提案するシステムを開発しました。

総収量予測モデル



1月上旬の葉面積指数から
総収量を予測可能

栽培支援システム (試験場から入手可能)

① 11～1月の生育データ (葉長、葉幅、葉数) をExcelに入力
→ 総収量を予測

現在の生育状況

茎径：細い、LAI：やや小さい

草勢弱く、やや生殖成長ざみ

収量レベル予測

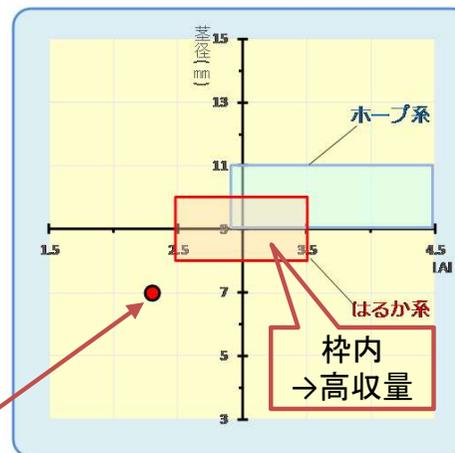
中

1～6月商品果収量 22.1 t/10a

今後の管理

- ・温度 昼温：下げる、夜温：変えない
- ・CO₂ 濃度高める
- ・摘葉 控えて葉面積を確保
- ・かん水 増やす

換気や暖房の設定温度、CO₂濃度を
目安の範囲内で調節しましょう。



② 1月の茎径を併せて入力

→ 現在の生育状況が表示され、

収量向上に向けた今後の栽培管理を提案

※葉面積指数 (LAI) : 地表の面積に対する葉の面積の割合

(野菜部)